

辺地総合整備計画書

山形県最上郡真室川町大字及位 及位 辺地
(辺地の人口 343人 面積 4.3km²)

1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称 真室川町大字及位字 赤倉、虻川原、岩瀬山、上田表、鏡沢、鏡沢山、笹子道、塩根川、小六郎沢山、田代、楯の下、楯の沢山、問屋山、中小屋山、中の股、中山、及位、朴木沢、町西、薬師下
- (2) 地域の中心の位置 真室川町大字及位 字楯の下 429番地1
- (3) 辺地度数 216点

2. 公共施設の整備を必要とする事情

本地域は町の北東部にあり秋田県境に位置し、最大積雪深は2m以上になる豪雪地帯である。集落は各小河川沿いに散在し、周囲を急峻な山地で囲まれている。地域内を縦横断する国道13号、主要地方道真室川鮭川線を幹線道路としているが、集落内生活道路の整備が課題となっている。

年々進む高齢化の影響により交通弱者対策も課題となっており、町中心部や基幹地区にある医療機関や商業施設等を利用するため、町営路線バスの存在が重要な交通手段となっているほか、小学校の統合によって児童の通学距離が延び、安全を確保し通学を容易にすることが課題となっている。

このため、町道・橋梁及び路線バスを整備し、地域交通の確保、生活基盤の安定性を向上するものである。

また、本地域において県が事業主体となって実施される圃場整備事業について、町に求められる事業負担金を負担するものである。

その他、地域住民の集会施設として活用している及位地区総合施設について、長寿命化のための改修を行うことにより、地域活動の活性化を図るものである。

3. 公共施設の整備計画

令和8年度から令和12年度までの5年間

(単位：千円)

施設名	区分	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち ち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
道路及び渡船施設		真室川町	206,750		206,750	179,200
住民の交通の便に供するための自動車		真室川町	12,000		12,000	12,000
農業(畜産業を含む。)、林業又は漁業の経営の近代化のための施設		山形県	135,625	58,125	77,500	77,500
公民館その他の集会施設		真室川町	64,288	1,382	62,906	62,700
合計			418,663	59,507	359,156	331,400